

## イフジ産業の鶏卵相場予想

### 2022年 1月 の鶏卵相場予想

**165円**

(全農東京相場LM加重平均)

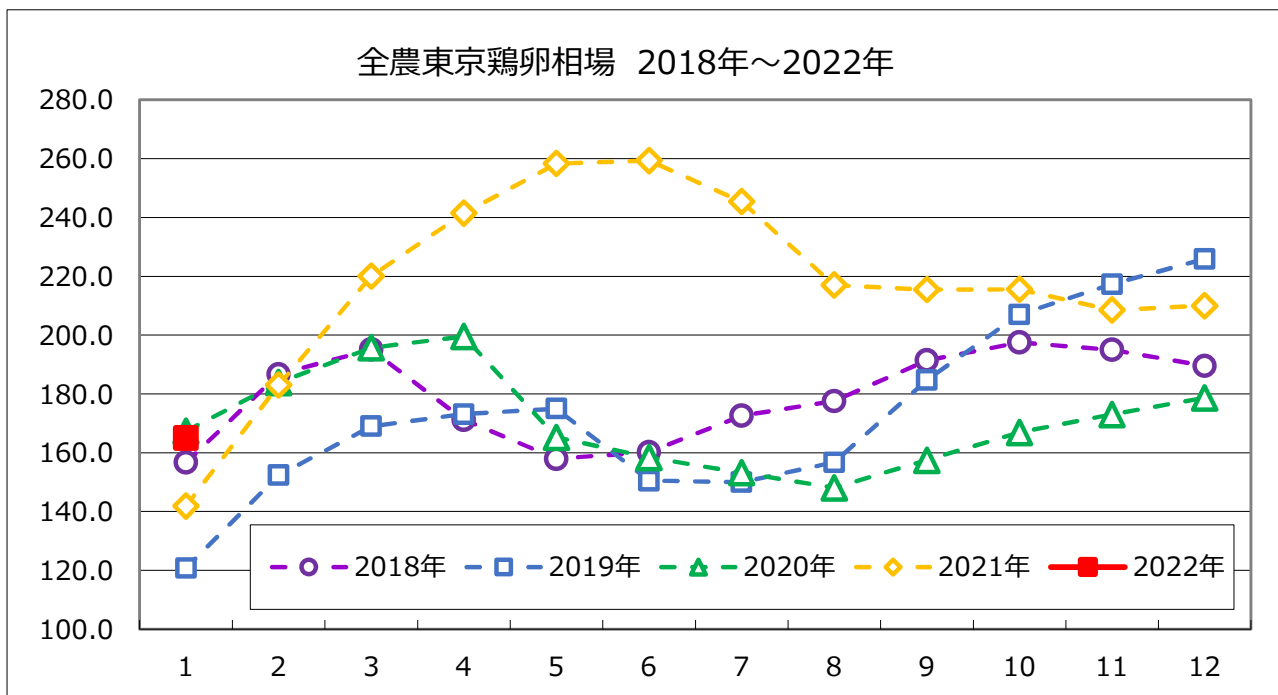
1 2月の相場ですが、1 1月最終値であったLサイズ210円・Mサイズ210円でスタートしました。その後は保合が続いております。(令和3年12月24日時点のLM加重平均は210円)

供給面では、生産は卵重・生産量ともに安定して推移しております。1 1月上旬より発生している鳥インフルエンザですが、全国で9例(内、6例が採卵鶏:約40万羽)発生しています。現状の影響は限定的で大きな変化はありません。需要面では、クリスマスや年末・年始商戦に向けて動きは活発化してきてはいるものの、コロナ前の水準への回復には至っていません。様々な原料が高騰している影響で製品値上げの動きも出てきているため、消費行動の鈍化も感じられます。1 2月の月間LM加重平均は210円(令和3年12月24日までの平均値)

さて、新年1月の相場予想ですが、供給面では年末年始の休止中に一時的に滞貨玉が発生するため、初市相場は例年通り下落するものと思われます。ただし、飼料が変わらず高値維持していること、前年度より早期淘汰事業が1月も対象となっていることを考えると、過剰供給にならないよう生産調整の動きが活発となる可能性もございます。一方の需要面ですが、寒冷な気候が続くこと、2月の恵方巻等への動きも出てくることから、一定の需要発生はあるものと思われます。ただし、1月以降に値上げを控えている製品もあるため、消費者の動向によって変化することが予想されます。1月の相場については月間を通して強含みになると感じますが、緩やかな展開が予想されます。

昨季と同様に鳥インフルエンザの発生は全国で見受けられる状況です。鳥インフルエンザの発生時期は1 1月頃～翌年3月頃までと言われてはいますが、なかでも1月～2月が最も発生しやすいと言われてはいます。そのため、1月以降の動向次第では状況が一変する可能性があります。

1月の月間LM加重平均は165円付近と予想いたします。



※2021年12月の相場は12月24日までの平均値。1月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×  
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

